

第56回香川県環境審議会計画部会

日時：令和7年8月27日（水）午後1時00分～

場所：香川県庁本館12階大会議室

次第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

香川県環境基本計画等の骨子（案）について

① 香川県環境基本計画骨子（案）

② 香川県地球温暖化対策推進計画骨子（案）

③ 香川県循環型社会推進計画骨子（案）

4 その他

5 閉会

①香川県環境基本計画の策定について

1 計画策定の趣旨

本県の環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定する。

2 計画の位置づけ・性格

- ・「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」の環境に関する分野別計画
- ・香川県環境基本条例第9条に基づく計画
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第8条に基づく「環境教育等の推進に関する行動計画」として、また、生物多様性基本法第13条に基づく「生物多様性地域戦略」として位置付け

3 計画の期間

令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

4 計画の対象範囲

環境全般 ※緑化の推進とみどりの保全を総合的かつ計画的に推進するものは、「香川県みどりの基本計画」で取り扱う。

①香川県環境基本計画の策定について

将来像

環境と成長の好循環が図られるグリーン社会の実現

計画の基本的な考え方

- ・複雑・多様化する環境の課題に、県民をはじめあらゆる主体が一体となって取り組むことが必要であるため、県民一人ひとりの環境保全に対する意識を高め（「人づくり」）、あらゆる主体の取組みが地域に根差し（「地域づくり」）、連携・協働したものとなる施策を展開する。
- ・地球温暖化対策の推進、循環型社会の推進、自然と共生する地域づくりの推進、安全・安心な生活環境の保全を柱とした施策を実施することで、本県の環境課題の解決を図るとともに、SDGsの目標達成にも貢献していく。
- ・環境と成長の好循環を図り、グリーン社会を実現するため、コロナ禍以降の社会経済情勢等の変化等も踏まえ、環境保全施策に、より積極的に取り組む。

〔各分野にまたがる基盤整備・地域づくり〕環境を守り活かす人づくり・地域づくりの推進

1-1 環境を身近に感じ、学び、行動する人づくりの推進		1-2 環境と成長の好循環につながる地域づくりの推進		1-3 地域環境資源の充実と活用の推進	
【施策展開】	【主な取組内容】	【施策展開】	【主な取組内容】	【施策展開】	【主な取組内容】
1-1-1 環境に興味・関心を持つためのきっかけづくりの推進	・環境を身近に感じる場の提供 ・環境に関する効果的な情報発信	1-2-1 環境と成長が好循環する事業活動の促進	・環境産業の振興 ・環境と好循環した農林水産業の振興 ・環境負荷低減に取り組む事業者の育成・支援 ・県自らの活動での環境負荷低減の取組みの推進	1-3-1 みどりづくりの推進	・みどりづくりの意識高揚 ・みどりを守り・育てる人材の育成 ・森づくり活動の推進 ・みどりを活かした地域づくり活動の推進
1-1-2 誰もが環境を学べる機会の充実	・学校での環境教育の推進 ・家庭・職場・地域での環境学習の機会の提供 ・環境教育・環境学習を推進する人材の育成			1-3-2 里海づくりの推進	・里海づくりを牽引する人材の育成・活用 ・里海づくりの促進 ・海域への栄養塩類増加措置の実施 ・里海の保全と持続的活用 ・海ごみ対策の推進
1-1-3 県民の自主的取組みの促進	・日常生活での省資源・省エネルギーを意識した取組みの促進 ・環境保全・環境美化活動への参加促進	1-2-2 環境に配慮した成長する地域づくりの促進	・適正な土地利用の調整 ・環境に配慮し、地域と共生した事業活動の促進	1-3-3 自然や景観等を生かした地域資源の活用	・県立公園等の再生・整備・管理 ・農山村資源の利活用 ・水辺環境の保全・創出 ・良好な景観の形成 ・歴史的・文化的環境の保全と活用
		1-2-3 あらゆる主体が連携・協働する取組みの推進	・あらゆる主体による連携と協働の取組みの充実・強化 ・情報発信の充実		

〔地球環境分野〕 地球温暖化対策の推進

2-1 地球温暖化の防止を図るための対策（緩和策）

【施策展開】	【主な取組内容】
2-1-1 徹底した排出削減対策の推進	・家庭・企業のカーボンニュートラルの推進 ・移動・輸送のカーボンニュートラルの推進 ・循環型社会づくりの推進 ・CO2以外の温室効果ガス対策の推進
2-1-2 再生可能エネルギーの導入促進	・太陽光エネルギーの最大限活用 ・地域と共生した再生可能エネルギーの利活用
2-1-3 吸収源対策の推進	・森林や藻場を生かした吸収源対策の推進 ・都市緑化の推進
2-1-4 脱炭素成長型経済構造への移行促進	・次世代エネルギーの利活用 ・GX関連産業の活性化

2-2 気候変動の影響に備えるための対策（適応策）

【施策展開】	【主な取組内容】
2-2-1 気候変動適応策の推進	・気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の提供等 ・熱中症対策の推進
2-2-2 各分野における気候変動適応策の推進	・農林水産分野 ・水環境・水資源分野 ・自然生態系分野 ・自然災害分野 ・健康分野 ・産業・経済分野 ・県民生活分野

**個別計画として
「地球温暖化対策推進計画」を策定**

〔資源循環分野〕 循環型社会の推進

3-1 循環型社会づくりの推進

【施策展開】

【主な取組内容】

3-1-1
3R（リデュース、リユース、
リサイクル）の推進

- ・2Rを意識した3Rの普及啓発・
取組みの推進
- ・各種リサイクル制度の円滑な推進・
拡充
- ・循環産業の育成

3-1-2
プラスチック資源循環の推進

- ・事業者のプラスチック資源循環の
推進
- ・県・市町等のプラスチック資源循環
の推進

3-1-3
食品ロス削減の推進

- ・教育や普及啓発の推進
- ・事業者における取組みの推進

3-3 災害廃棄物処理対策の推進

【施策展開】

【主な取組内容】

3-3-1
災害廃棄物処理対策の推進

- ・大規模災害に備えた災害廃棄物
処理体制の充実・強化

3-2 廃棄物の適正処理の推進

【施策展開】

【主な取組内容】

3-2-1
廃棄物の適正処理の推進

- ・廃棄物処理施設の確保と
維持管理
- ・監視指導体制の拡充・強化
- ・廃棄物の適正処理の推進
- ・豊島処分地維持管理等事業
の推進

3-2-2
不法投棄対策の推進

- ・不法投棄や野外焼却対策の
強化

3-4 水循環の促進

【施策展開】

【主な取組内容】

3-4-1
水を大切にする社会への転換

- ・雑用水利用の促進
- ・節水活動の促進
- ・水の大切さの理解の促進



個別計画として
「循環型社会推進計画」を策定

〔自然環境分野〕 自然と共生する地域づくりの推進

4-1 生物多様性の価値の理解と行動

【施策展開】	【主な取組内容】
4-1-1 自然共生サイトへの 取組みの促進	・生物多様性の保全を実現するための普及啓発活動の推進 ・県施設、市町、民間団体等における自然共生サイト認定の促進 ・生物多様性の保全のための人材の育成

4-3 自然を活用した社会課題の解決

【施策展開】	【主な取組内容】
4-3-1 有害鳥獣対策の推進	・有害鳥獣対策の推進 ・鳥獣被害に強い地域づくりと人材育成 ・捕獲個体の資源化の推進
4-3-2 野生鳥獣の保護管理	・野生鳥獣の生息環境の保全と狩猟の適正化
4-3-3 人と自然の触れ合いの確保	・まちかど生き物標本展 ・フィールド講座の開催 ・愛鳥週間等による普及啓発活動の推進 ・野生鳥獣保護センター等の活動の推進

4-2 生態系の健全性の回復

【施策展開】	【主な取組内容】
4-2-1 希少野生生物の保護	・保護と普及啓発の充実
4-2-2 外来種対策の促進	・外来種対策の推進と普及啓発 ・特定外来生物の防除の推進 ・新たな特定外来生物の侵入の防止と早期対策

4-4 農地等の保全と持続的活用

【施策展開】	【主な取組内容】
4-4-1 農地等の保全と持続的活用	・農地集積と農地の確保 ・農地の保全と協働活動による多面的機能の維持・発揮 ・鳥獣被害対策の推進
4-4-2 環境に配慮した農業の促進	・環境保全型・資源循環型農業の推進

〔生活環境分野〕安全・安心な生活環境の保全

5-1 大気環境の保全

【施策展開】	【主な取組内容】
5-1-1 監視の実施及び 県民への情報提供	・大気環境・有害大気汚染物質等の監視・モニタリング ・県民への情報提供
5-1-2 大気汚染物質の 発生源対策等の推進	・工場・事業場に対する排出規制の推進 ・自動車排出ガス対策の推進 ・光化学オキシダント・微小粒子状物質（PM2.5）の対策の推進 ・石綿の飛散防止の推進

5-3 騒音・振動・悪臭・化学物資対策等の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
5-3-1 騒音・振動・悪臭防止 対策の推進	・騒音・振動対策の推進 ・悪臭防止対策の推進
5-3-2 化学物質対策等の 推進	・化学物質の使用実態の把握と適正管理の推進 ・化学物質（農薬）の安全管理、安全使用の推進 ・ダイオキシン類対策の推進 ・環境放射能対策の推進

5-2 水環境、土壌・地盤環境の保全

【施策展開】	【主な取組内容】
5-2-1 監視の実施及び 県民への情報提供	・計画的な監視の実施 ・水質汚濁事故時の連絡体制の整備
5-2-2 水質汚濁発生源 対策の推進	・総量削減計画の推進 ・工場・事業場に対する排水規制、開発事業等に係る排水対策の推進 ・生活排水処理施設の整備 ・地下水の汚染防止対策の推進 ・農畜水産業での水質汚濁負荷低減対策の推進
5-2-3 水環境の保全対策 の推進	・瀬戸内海の水環境の保全に関する香川県計画の推進 ・海域への栄養塩類増加措置の実施 ・香の川創生事業の促進 ・ため池の水質改善の促進
5-2-4 土壌・地盤環境の 保全対策の推進	・土壌汚染防止対策の推進 ・地盤環境の保全対策の推進

各分野の主な指標 ① (★は新規の指標)

〔各分野にまたがる基盤整備・地域づくり〕 環境を守り活かす人づくり・地域づくりの推進

施策項目	指標	単位	現況 (R6年度)	目標 (R12年度)
1	環境保全活動について県と連携した市町・事業者・民間団体数	団体	99	109
1	★GXに関する現地技術指導件数	件	15	23
1-1-2	環境教育・環境学習参加者数	人	63,402	182,000
1-2-1	エコアクション21の新規認証取得件数	件	3	5
1-3-3	★県立公園等の年間利用者数	人	3,845,978	4,600,000

〔地球環境分野〕 地球温暖化対策の推進

施策項目	指標	単位	現況 (R6年度)	目標 (R12年度)
2	温室効果ガス削減率	%	▲27.5 (R3)	▲46

〔資源循環分野〕 循環型社会の推進

施策項目	指標	単位	現況 (R6年度)	目標 (R12年度)
3	一般廃棄物の最終処分量	万t	2.4 (R5)	2.2
3	産業廃棄物の最終処分量	万t	12.4 (R5)	10.1

各分野の主な指標 ② (★は新規の指標)

〔自然環境分野〕 自然と共生する地域づくりの推進

施策項目	指標	単位	現況 (R6年度)	目標 (R12年度)
4	生物多様性の保全に向けて県と連携した事業者・民間団体数	団体	12	17
4	生物多様性に関する県民の認知度	%	44.6 (R7.6)	50
4-1-1	★自然共生サイトの県内認定登録サイト数	サイト	2	5
4-2-2	アライグマ・ヌートリアの年間防除頭数	頭	357	400
4-3-1	★50歳未満の狩猟免許所持者数	人	540	640

〔生活環境分野〕 安全・安心な生活環境の保全

施策項目	指標	単位	現況 (R6年度)	目標 (R12年度)
5	環境基準の達成状況 (大気、公共用水域、航空機騒音、ダイオキシン類)	項目	6 (R5)	7
5-1-1	大気に係る環境基準達成率【全4項目】	%	100	100
5-2-1	公共用水域に係る環境基準達成率(健康項目)	%	100	100
5-3-1	★航空機騒音に係る環境基準達成率	%	100	100

②香川県地球温暖化対策推進計画の策定について

1 計画策定の趣旨

温室効果ガスの排出削減等を図る「緩和」策と気候変動の影響に備える「適応」策を総合的かつ計画的に推進するために策定する。

2 計画の位置づけ・性格

- ・「香川県環境基本計画」の地球環境分野に関する個別計画
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく「地方公共団体実行計画(区域施策編)」
- ・気候変動適応法第12条に基づく「地域気候変動適応計画」

3 計画の期間

令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

②香川県地球温暖化対策推進計画の策定について

基本目標

県民みんなで取り組むカーボンニュートラルの実現

計画の基本的な考え方

- ・本県が掲げる「2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする」という目標における、令和12(2030)年度までの温室効果ガス削減に向けた取組みを取りまとめる。
- ・温室効果ガスの排出削減等を行う「緩和」策と気候変動の影響に備える「適応」策に取り組むことで、地球温暖化対策の推進を図る。
- ・本計画については、国と方向性を一にして取り組むことが基本であり、国の地球温暖化対策計画等の内容を十分に踏まえつつ、本県の地域特性や実情に即して策定する。

地球温暖化の防止を図るための対策（緩和策）

1-1 徹底した排出削減対策の推進

【施策展開】	【主な取組内容】	
1-1-1 家庭・企業のカーボンニュートラルの推進	産業部門	・脱炭素経営の促進 ・脱炭素型の設備・機器等の導入促進
	業務部門	・脱炭素経営の促進 ・脱炭素型の建築物等の導入促進
	家庭部門	・脱炭素型ライフスタイルへの転換の促進 ・省エネ住宅の導入促進
1-1-2 移動・輸送のカーボンニュートラルの推進	運輸部門	・環境に配慮した交通・物流システムの推進 ・公共交通機関等の利用促進 ・次世代自動車の導入促進
1-1-3 循環型社会づくりの推進	・3Rの推進 ・プラスチックごみ対策の推進 ・食品ロス対策の推進	
1-1-4 CO2以外の温室効果ガス対策の推進	・代替フロン対策の推進 ・メタン及び一酸化二窒素対策の推進	

1-2 再生可能エネルギーの導入促進

【施策展開】	【主な取組内容】
1-2-1 太陽光エネルギーの最大限活用	・太陽光発電の導入促進 ・次世代型太陽電池の導入拡大
1-2-2 地域と共生した再生可能エネルギーの利活用	・環境に配慮した再生可能エネルギーの導入促進 ・地域内資源の最大限活用

1-3 吸収源対策の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
1-3-1 森林や藻場を生かした吸収源対策の推進	・森林整備、みどりづくりの推進 ・県産木材の利用促進 ・藻場造成の推進
1-3-2 都市緑化の推進	・地域の緑化、建物緑化の推進

1-4 脱炭素成長型経済構造への移行促進

【施策展開】	【主な取組内容】
1-4-1 次世代エネルギーの利活用	・水素等次世代エネルギーの利用促進、普及啓発
1-4-2 GX関連産業の活性化	・GX関連産業の振興・育成

気候変動の影響に備えるための対策（適応策）

2-1 気候変動適応策の推進

【施策展開】

【主な取組内容】

2-1-1
気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の提供等

- ・気候変動適応センターの機能充実
- ・気候変動影響等に関する情報提供

2-1-2
熱中症対策の推進

- ・気候変動適応法に基づく熱中症対策の推進
- ・熱中症対策のための庁内体制整備及び市町との連携強化

2-2 各分野における気候変動適応策の推進

2-2-1
農林水産分野

2-2-2
水環境・水資源分野

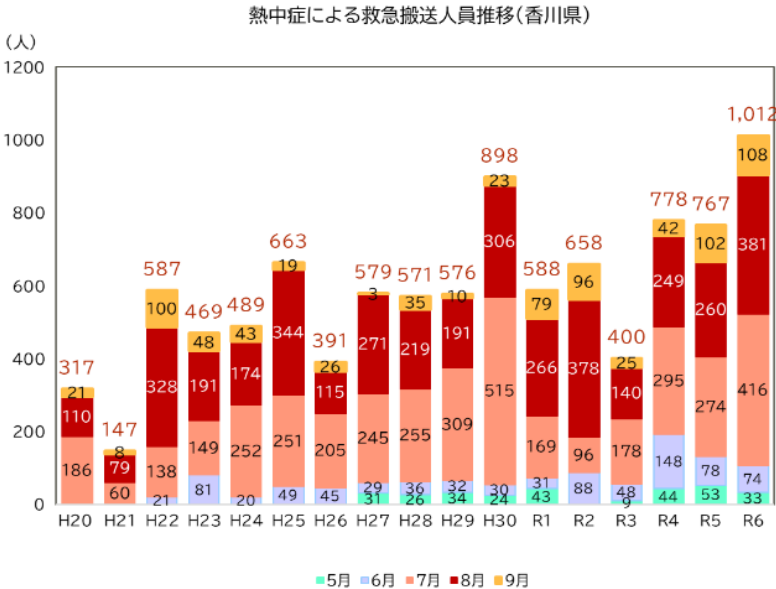
2-2-3
自然生態系分野

2-2-4
自然災害分野

2-2-5
健康分野

2-2-6
産業・経済分野

2-2-7
県民生活分野



指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）マーク



国の分類体系に沿って、
気候変動の影響及び適応策を整理

主な指標（★は新規の指標）

基本目標

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
基本目標	温室効果ガス削減率	%	▲27.5（R3）	▲46

地球温暖化の防止を図るための対策（緩和策）

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
1-1-1	太陽光発電設備付き新築ZEH住宅の戸数	戸	996（R5）	1,700
1-2-1	県施策による太陽光発電システム設置容量	kW	6,154	7,200
1-3-1	森林整備面積（累計）	ha	3,868 （R2～R6）	5,000 （R8～R12）
1-4-1	FCV普及台数	台	33	66

気候変動の影響に備えるための対策（適応策）

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
2-1-1	★気候変動適応に関するセミナー等の実施件数	件	7	12
2-1-2	★指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）設置件数	件	369	500

③香川県循環型社会推進計画の策定について

1 計画策定の趣旨

- ・環境への負荷ができる限り低減される循環型社会の形成をめざして、本県の廃棄物政策を総合的かつ計画的に推進するために策定する。
- ・循環型社会形成をより一層推進する観点から、計画名を「香川県廃棄物処理計画」から「香川県循環型社会推進計画」へ変更する。
- ・従来の「香川県廃棄物処理計画」に「プラスチック資源循環」や「食品ロス削減」に関する事項などを追加する。

2 計画の位置づけ・性格

- ・「香川県環境基本計画」の資源循環分野に関する個別計画
- ・廃棄物処理法第5条の5に基づく計画
- ・食品ロス削減推進法第12条に基づく計画

3 計画の期間

令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

③香川県循環型社会推進計画の策定について

基本目標

循環型社会の推進による持続可能な香川の実現

計画の基本的な考え方

- ・環境への負荷をできる限り低減するため、引き続き、普及啓発等による廃棄物発生抑制の推進や各種リサイクル制度の円滑な推進・拡充によるリサイクル率の向上等、3Rの推進に取り組む。
- ・近年課題となっているプラスチック資源循環や食品ロスへの対応を行う。
⇒ 「香川県廃棄物処理計画」と「香川県食品ロス削減推進計画」を統合し、
「香川県循環型社会推進計画」とする。
- ・廃棄物処理施設の確保と維持管理、監視指導体制の充実・強化や不法投棄・野外焼却対策の強化による廃棄物適正処理の推進に取り組む。
- ・災害廃棄物処理体制の充実・強化に取り組む。

循環型社会づくりの推進

1-1 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
1-1-1 2Rを意識した3Rの普及啓発・取組みの推進	・3Rの普及啓発・環境学習の推進 ・地域でのクリーン作戦への支援 ・事業者における取組みの促進 ・県・市町における取組みの促進
1-1-2 各種リサイクル制度の円滑な推進・拡充	・拡大生産者責任の徹底 ・容器包装リサイクルの推進 ・家電リサイクルの推進 ・建設リサイクルの推進 ・食品リサイクルの推進 ・自動車リサイクルの推進 ・家畜排せつ物のリサイクルの推進 ・小型家電リサイクルの推進（レアメタルリサイクル） ・多様な回収ルートの確保
1-1-3 循環産業の育成	・事業者に対する支援 ・エコタウン事業の推進 ・リサイクル市場の普及啓発

1-2 プラスチック資源循環の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
1-2-1 事業者におけるプラスチック資源循環の推進	・リデュース・適正処理の徹底 ・有効利用の促進
1-2-2 県・市町等におけるプラスチック資源循環の推進	・県・市町における資源循環の促進 ・海洋プラスチックごみ対策

1-3 食品ロス削減の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
1-3-1 教育や普及啓発の推進	・教育及び学習の振興、普及啓発等 ・表彰制度 ・実態調査等の推進 ・フードバンク活動への支援等
1-3-2 事業者における取組みの推進	・事業者の取組みに対する支援 ・実態把握及び先進的事例等に関する情報収集と情報提供 ・フードバンク活動への支援等（再掲）

廃棄物の適正処理の推進

2-1 廃棄物の適正処理の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
2-1-1 廃棄物処理施設 の確保と維持管理	・廃棄物処理施設に対する理解と協力の確保 ・産業廃棄物処理施設の確保と維持管理 ・廃止する廃棄物処理施設の適正管理 ・ごみ処理の広域化及びごみ処理の集約化に向けた支援
2-1-2 監視指導体制の 拡充・強化	・排出事業者に対する監視指導 ・処理業者、処理施設に対する監視指導 ・市町における監視指導の強化 ・県外産廃の搬入規制の継続と適正な循環利用の確保 ・不適正処理への対応

2-1 廃棄物の適正処理の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
2-1-3 廃棄物の適正処理 の推進	・市町における適正処理の推進 ・排出事業者及び処理業者における適正処理の推進 ・優良産廃処理業者の周知 ・感染性廃棄物の適正処理の推進 ・石綿を含む廃棄物の適正処理の推進 ・PCB廃棄物の適正処理の推進 ・その他各種廃棄物の適正処理の推進
2-1-4 豊島処分地維持 管理等事業の推進	・豊島処分地維持管理等事業

2-2 不法投棄対策の推進

【施策展開】	【主な取組内容】
2-2-1 不法投棄や野外焼却対策の強化	・不法投棄されない地域社会の構築 ・監視、通報体制の充実 ・関係機関との連携の強化

災害廃棄物処理対策の推進

3-1 災害廃棄物処理対策の推進

【施策展開】

3-1-1
大規模災害に備えた災害廃棄物処理体制の充実・強化

【主な取組内容】

- ・災害廃棄物処理訓練の実施
- ・災害廃棄物処理体制の強化

主な指標（★は新規の指標）

基本目標

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
基本目標	一般廃棄物の最終処分量	万t	2.4（R5）	2.2
基本目標	産業廃棄物の最終処分量	万t	12.4（R5）	10.1

循環型社会の推進

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
1-1-1	★3Rの推進に積極的に取り組んでいると答えた人の割合	%	41.1（R7.6）	56.0
1-1-1	一般廃棄物／産業廃棄物の総排出量	万t	28.6／248.3（R5）	26.0／247.5
1-1-1	一般廃棄物／産業廃棄物のリサイクル率	%	18.8／70.8（R5）	24.0／72.4
1-2-1	★プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化を実施する市町数	市町	2（R7）	9
1-3-1	★食品ロスの発生量	t	※国の公表数値（8月） を踏まえ算定中	※現況値を踏まえ 算定中

廃棄物の適正処理の推進

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
2-1-2	廃棄物不適正処理（不法投棄以外）に係る通報を踏まえた対応件数	件	92	69
2-2-1	廃棄物不適正処理（不法投棄）に係る通報を踏まえた対応件数	件	35	17

災害廃棄物処理対策の推進

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
3-1-1	★災害廃棄物処理に係る訓練の実施回数	回	3	年2回以上実施

【今後のスケジュール(予定)】

令和7年10月 第57回香川県環境審議会計画部会
(香川県環境基本計画等の素案について)

令和8年 1月 第58回香川県環境審議会計画部会
(香川県環境基本計画等の最終案について)

※詳細な日時については、別途、調整させていただきます。